

第2回有識者会議で頂いたご意見と対応について

令和7年11月27日(木)に開催した「第2回有識者会議」において、北九州市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定素案に対し、複数のご意見をいただいた。

その中で、会議中に回答したもの及び改定素案に既に反映されているものを除く意見について、関係課との協議を踏まえ、改定素案について以下のとおり**文案を追加・修正する**。

文案の追加が必要な意見	➔	7か所
文案の修正が必要な意見	➔	1か所

構成員のご意見・提案の市行動計画(素案)への反映

項目	ご意見・提案	市計画(素案)への追加	
		記載内容	記載箇所
ワクチン接種	○ アレルギーなど特別な事情のある方のワクチン接種が、一部医療機関に限られていたので配慮してほしい。	(追加) ○ アレルギーを疑う症状を呈したことのある者等の予防接種 要注意者が、安全に接種を受けられるよう、医師会と協議のうえ、 可能な限り多くの対応医療機関の確保に努める。	第3部 第7章ワクチン 【準備期】
DX	○ DXについては消防(救急)との連携も検討してほしい。	(追加) ○ 消防(救急)と医療機関の連携を強化し、患者情報共有などDX を活用した効率的な救急患者の搬送体制を構築する。	第3部 第8章医療 【準備期】
	○ 県の入院調整システムの入力作業等について、可能な限り簡便化を図ってほしい。	(追加) ○ 医療機関の負担軽減を図るため、入力の簡便化等、G-MIS や県の入院調整システムの改善に向けた取組が推進されるよう、 市は必要な協力を行う。	
実施体制	○ 新型コロナ等の経験のある職員の一覧(名簿)を整備する必要がある。	(追加) ○ 応援職員の対象となるリスト(動員リスト)を作成し、定期的に 点検・更新する。	第3部 第11章保健 【準備期】
	○ 必要に応じて、市職員の退職者を活用するべき。	(追加) ○ IHEAT要員に関する募集や広報を、特に地域における外部の 専門職や行政機関(保健所等)での勤務経験者等に対し行う。	

項目	ご意見・提案	市計画(素案)への追加	
		記載内容	記載箇所
高齢者施設等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設職員を対象とした研修会等の開催や、医療機関等と連携した施設の感染対策を実施してほしい。 	<p>(追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 施設職員を対象とした感染対策研修会を定期的を開催し、施設職員の対応能力向上を図る。また、市内医療機関等に従事する感染症専門家等の協力を得て、感染対策に関する助言や技術的支援を行う。 	第3部 第11章保健 【準備期】
物資	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ対応初期にはマスクやガウン、検査試薬などが不足し、必要な資材や医薬品の所在が把握できなかったため、情報を一元的に集約する必要がある。 	<p>(追加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療機関等において必要な物資が不足する場合、市は必要に応じて物資の供給に関する情報収集に努めるとともに、県や国の備蓄分の活用についての調整を行う。 	第3部 第12章物資 【初動期】

項目	ご意見・提案	市計画(素案)の修正	
		修正内容	記載箇所
市民生活	<p>○ 初動期に入ってもまだ「……テレワークや時差出勤の推進等の感染拡大防止に必要な対策等の準備をするよう呼び掛ける。」となっている。 用語(表現)を変えた方がよい。</p>	<p>(当初案)</p> <p>○ 新型インフルエンザ等の発生に備え、感染の可能性のある者との接触機会を減らす観点から、必要に応じて事業者に対し、従業員の健康管理を徹底するとともに、感染が疑われる症状が見られる職員等への休暇取得の勧奨、オンライン会議等の活用、テレワークや時差出勤の推進等の感染拡大防止に必要な対策等の準備をするよう呼び掛ける。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(修正案)</p> <p>○ 感染拡大に備え、市は事業者に対し、以下の取り組み等を事業形態に応じて実施するよう要請し、着実に感染対策が行われるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従業員の健康管理の徹底 ・ 感染が疑われる症状が見られる従業員等への休暇取得の勧奨 ・ オンライン会議等の活用 ・ テレワークや時差出勤の推進 など 	<p>第3部 第13章 市民生活及び 市民経済の 安定の確保 【初動期】</p>